

## 事業概略書

事業名	バリアフリーによる映画鑑賞の技術開発および普及事業
事業目的	<p>バリアフリー版上映ならびに、バリアフリー映画そのものが、映画鑑賞のスタンダードになるために、本事業を成功させることにより、障害者の情報保障という観点から、実は、誰にとっても有益であるということに、多くの人々が気づききっかけを得られることも、本事業の極めて重要な成果になりうる。</p> <p>視覚・聴覚・知的障害、高齢化などの問題を含む多様な「障害=バリアー」をより積極的に捉え直し、われわれの生活文化を豊かなものにする映画鑑賞だからこそ超えることのできる「社会と心のバリアフリー化」を、大胆に、柔軟に目指す。</p>
事業概要	<p>①バリアフリー映画製作の手法について、研究会を通して検証          ②新たに2作品のバリアフリー版製作          ③佐賀、滋賀における、映画祭を開催、研究会メンバーによる公開シンポジウムならびにアンケート調査を実施。</p> <p>①については、過去二年間のノウハウを集積し、それらの検証を行うとともに、制作方法について汎用が可能であるかどうかについて検討した。東京での研究会ならびに、公開研究会（滋賀、佐賀）とあわせて、3回開催。</p> <p>②では、①の手法をもって、より具体的な方法論、コスト面の検証を同時に行う。</p> <p>③においては、映画祭への参画、共催。</p>
事業実施結果及び効果	<p>本事業がもととなり、民間助成団体、一般企業等が、各映画のバリアフリー版製作へ着手するという動きにつながった。</p> <p>「バリアフリー映画の普及と支援に関する要望」を5県（栃木・滋賀・広島・高知・佐賀）の知事にもご理解いただき、連名で要望書として作成するに至り、民主、自民、公明各党党首宛てに提出することができた。今後、継続的に各方面で議論を続けていくための足掛かりとして期待ができる。</p> <p>東日本大震災の被災者の方々のため、被災地の復興の為にも、みんなで楽しめる、娯楽としての映画が拡がり続けることが必要である。</p>
事業主体	<p>〒891-1201          鹿児島県鹿児島市岡之原町1005          特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク          TEL：099-822-8705          E-MAIL：tsuru-motohiko@nifty.cpm</p>